

君津市の中学校でブルーカーボン授業を実施 日本製鉄の「海の森づくり」を伝える！

日本製鉄株式会社

2023年07月12日

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）は、人工的に鉄分を供給し、磯焼けに改善効果のある鉄鋼スラグ製品ビバリー®ユニットを開発し、2004年から藻場を再生させる「海の森づくり」に取り組んでおり、現在、その取り組みは全国44カ所の海域に広がっています。

多くの適用海域では、多様な海洋生物の住処となる藻場がよみがえり、漁獲向上の効果も報告されています。藻場は近年、CO_2を吸収・固定するブルーカーボン生態系の１つとしても注目が集まっています。

日本製鉄は、この藻場造成事業において、国土交通省認可の技術研究組合であるジャパンブルーエコノミー技術研究組合が運営するJブルークレジット®から、直近5年間の2018年～2022年に吸収・固定化されたCO_2量（ブルーカーボン）として、49.5トン-CO_2の認証を経て、クレジットの発行を取得しています。

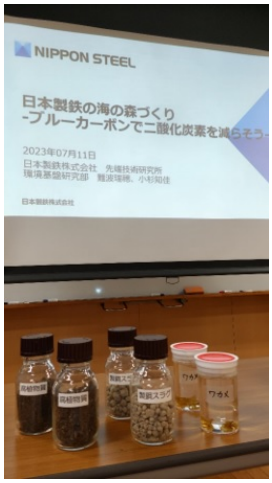
（参考）ブルーカーボン動画



＜授業の様子＞







日本製鉄は、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)にも合致した活動（「気候変動に具体的な対策を」、「海の豊かさを守ろう」）を通じて、これからも社会の発展に貢献していきます。